

令和2年度 教育計画

【教育目標】

「真実」「克己」「規律」の校訓のもとに、日々の学校生活をとおして、心身共に健康な人間を育成する

【教育方針】

- 真実と正義を求め、人格を尊重し合う人間としての資質伸長を図る
- 己に打ち克ち勉勵に努め、自主・自律の精神の育成を図る
- 社会的秩序や調和を重んじ、相互啓発・相互鍛錬に努める気風の育成を図る
- 地域社会と関わる体験をとおして、郷土愛を育み、幅広い視野を持つ人材の育成を図る

【本年度経営方針】

I 基本姿勢

学校の教育活動計画全体をキャリア教育的な考え方をベースにして展開することにより、社会の一員としての自己を理解し、夢の実現に向けて挑戦する明るく活力ある生徒を育成する

＜目指す学校像＞

- 生徒と教職員が元気で活気あふれる学校
- 生徒が安全に安心して学ぶことができる学校
- 学ぶ喜びを感じさせ、生きる力を伸ばす学校
- 入学した生徒全員が進路を決めて卒業できる学校
- 地域の人々から応援してもらえる学校

II 重点実施事項

1 各教科・科目の指導について

- 全教職員が共通意識を持ち、授業の開始時・終了時の服装・礼法指導・ベル即授業を徹底する。
- 各教科・科目において、キャリア教育の視点（学ぶ・生きる・働く）を意識した指導を展開する。
- 学校設定科目「五高ベーシック」や朝学習の充実・改善を図り、分かる喜びにつなげるとともに、基礎学力を身に付けさせる。
- 各教科での課題の与え方等を工夫し、連携して家庭学習の習慣付けを図る。
- 生徒の「主体的・対話的で深い学び」を目指し、授業改善に努める。

2 進路指導について

- 保護者との連携を保ち、3年間の系統的な進路ガイダンスを推進し、早い段階からの進路意識の高揚を図る。
- 個に応じたきめ細かい進路指導を行い、全員の進路先決定を目指す。
- 全員参加のインターンシップにより、実践的なキャリア教育を推進する。
- 将来に役立つ資格取得を奨励し、積極的に支援する。
- 進学及び就職先の開拓に努める。特に国公立大と看護系の進学の可能性を広げるべく、大学との連携や大学入試改革研究を推進する。
- 進路先の追跡調査を行い、離職防止等進路指導の改善につなげる。

3 生活指導について

- 生徒一人ひとりの行動を見守り、個人面談や日常的な声掛けを行うことにより、厳しくかつ丁寧で温かい指導を教職員皆で行う。
- いじめ0（ゼロ）を目指し、本校いじめ防止基本方針に則り、家庭と連携し、予防と早期発見、組織での早期対応に努める。
- 問題行動に対して全教職員の共通理解を図り、問題行動を起こさせない予防指導（事前指導）を推進する。
- 全校一斉の整容指導を定期的・組織的に徹底する。また日常的に、挨拶やマナー指導について継続的な指導、定期的な検証を行い、規律ある生活習慣を確立する。
- 清掃指導を徹底し、生活環境の保全を図るとともに、清掃活動を通して社会性や公共性を育成する。
- 教育相談機能の充実を図るとともに、生徒の変化を複数の目で捉え情報を共有する。

4 特別活動・部活動等について

- 生徒会執行部を核とした、生徒による自主的な生徒会活動を支援する。
- 部活動をとおして達成感を醸成し、相互錬磨を図るとともに、部活動を放課後の有意義な活動の場とするために、部活動への全員参加を奨励し活性化を図る。
- 地域貢献活動等で積極的に地域へ飛び出し、他に認められる喜びを経験させ、自ら社会に貢献しようとする態度を育成する。
- インクルーシブ教育を推進し、障がいに対する理解や共生意識を醸成する。

5 職員研修について

- 「教科・科目の中でのキャリア教育の進め方」を研究し推進を図る。
- 「主体的・対話的で深い学び」についての理解を深め、生徒主体の学習形態を組織的に研究する。
- 校内授業研修、生徒による授業アンケートを実施し、授業改善を図る。中高学習指導研究協議会や近隣中学校授業公開へ積極的に参加し、また効果的なオープン授業デーの在り方を工夫する。
- 特別支援教育について、高校生学校生活サポート事業連絡協議会の伝達研修等により職員研修を深める。

6 情報発信について

- 各種たより・HP・フォトニュース・PTA会合等、機会を捉えて学校の教育活動を紹介し、保護者や地域の人々から理解と協力を得られるように努める。また、部活動大会日程や学校行事等、常に新しい情報を発信する。

7 教育公務員としての自覚について

- 教育公務員としての責任を自覚し、道路交通法を守り交通事故に注意し、金銭や会計処理、個人情報等の管理を厳格にして不祥事や不正を根絶し、生徒や保護者、地域からの信頼を得られるよう行動する。